

## ☆ 総会資料を配布

新型コロナウイルスの猛威は一向に収まらず、松江市でも感染経路不明の男性が発見されたという新しい報道があり、身近に脅威が感じられます。皆さんも日常生活に気を配って過ごしておられることでしょうか。

ところで、新年度総会開催の見通しが立ちませんので総会資料を“たより”と一緒にお届けします。4月10日の役員会の概要については187号でお知らせしましたが、その詳細が記載されています。ご一読の上、ご意見等ありましたら役員のどなたかに申し出ください。

## ○田和山の樹木 第9回 アベマキ



広葉樹の第2回目は、アベマキにします。アベマキは、前回のクヌギと近縁の種で外観も含めよく似ていますが、樹皮に特徴がありクヌギとは区別できます。樹皮の特徴とは、コルク層の発達です。クヌギにもコルク層が発達していますが、その厚さはクヌギ以上の厚さです。そのためにアベマキは、コルク（コルクとして利用されているのは、ヨーロッパ産のコルクガシ）の代用品として利用されていました。島根県でもアベマキの樹皮が、特産品となっていました。（戦中から戦後の昭和30年代前半まで）私が、就職したころには、剥皮の跡が残ったアベマキを見かけましたが今はどうでしょうか。

アサヒビールの森が広島県の三次市と庄原市に2000ヘクタールほどありますが、ビールの王冠のコルクを生産するために取得したといわれています。

田和山には、アベマキが一本だけあります。コルク層を目標にして探してみたらいかがでしょうか。

## 運搬車の車庫完成

以前お知らせしたように、森の間伐材を利用して運搬車用の車庫を作りました。現職時代に大工をしていた小谷さんと、最近まで建設業だった金津さんの二人を中心に会員が手分けをして手伝い、手作りでトタン張りの小屋を完成しました。そのようすを写真で紹介します。



1. 間伐材の皮剥ぎ



2. 柱を立てる



3. 屋根の垂木打ち



4. 完成した小屋の前で小谷・金津氏



割竹の支柱



キンラン (5/5写)

## キンランを楽しむ会、中止！

コロナの関係で5月6日に予定していた「キンランを楽しむ会」は、中止としました。先日、森のキンランが生えている所に、新しい目印の支柱を立てました。その結果、150本程生えていることが解りました。昨年と比べ数が少し減っていましたが、森のあちこちに範囲が広がっています。本会では、キンランの花が見られる期間、交替で出かけ保護育成を図ることにしています。来年はなんとかコロナも収まって、賑やかに「楽しむ会」ができるよう願っています。

## 今後の活動予定

新型コロナウイルスの関係で、現在森の作業を中止していますが、5月7日以降松江市の方針が示されると思います。それに従って活動再開の期日等を決め連絡しますのでよろしくお願ひします。



3年振りに咲いたフデリンドウ



休憩所のフジの花



入口のレンギョウ